

アナフィラキシーとその初期対応

－ 現状の問題点を踏まえて －

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 小児急性疾患学講座 教授

【講師】 **池田 政憲 先生**

アナフィラキシーは、アレルゲン等の侵入により、複数臓器に全身性にアレルギー症状が惹起され、生命に危機を与え得る過敏反応であり、このアナフィラキシーに血圧低下や意識障害を伴う場合がアナフィラキシーショックである。食物、医薬品、昆虫刺傷が3大誘因であり、小児では食物、成人では医薬品が最も多い。アナフィラキシーに対する第一選択薬はアドレナリンであり、早期に適切に筋肉内投与を行うことでアナフィラキシーによる死亡率や入院率を下げる事が明らかにされている。

2人に1人がアレルギー症状を持つ時代となり、日常診療でアナフィラキシー症例に遭遇する機会が増加している。アナフィラキシーへの初期対応を熟知するとともに、教職員等をはじめ一般市民にたいしてエピペンを中心としたプレホスピタルケアを広く普及・啓発することも求められている。

日時 **2019年 4月 21日**(日) 午後 2 時 ～ 4 時

場所 **ピュアリティまきび** (岡山市北区下石井2-6-41 TEL 086-232-0511)

参加費 無 料 (医療従事者の方であれば、どなたでもご参加頂けます)

問合せ 岡山県保険医協会 (086-277-3307) 担当 / 友信

※岡山県医師会生涯研修 認定 (2単位) 各0.5単位

医師のプロフェッショナルリズム(1)、ショック(16)、意識障害(32)、呼吸困難(45)

共催：岡山県保険医協会、マイランEPD合同会社

FAX : 086-277-3371

第 311 回 プライマリケア懇話会 参加申込書 (2019.4.21)

医療機関名

参加者ご氏名